

10月職員研修

嘱託医で当法人理事の片嶋 淳先生を講師に迎え、高齢者の多い疾患の一つである高血圧やこれから流行するインフルエンザ、無症状で発見が遅くなりやすい高齢者の肺結核等について勉強しました。

先生の講義を受け、高齢者は若年者の場合とは異なる症状を示す事や生体防御力の低下により疾患が治りにくいという事を学びました。

そして、それらを念頭に介護に携わり、異常の発見に努め、どの疾患においても「食事が出来ているか？」という点であり、食事摂取量の低下は高齢者にとって致命的な状況である事を認識しました。

常日頃から先生の助言や指導がある中で理解していたつもりでも改めて講義を学習する事で自己向上に繋がりました。

